

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	Kings ロンドン英語研修
-----	----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	37081 円	昼食、外食
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	19097 円	物理 SIM、ポケット Wi-Fi
現地通学費	378 円	(研修先まで徒歩30分) 初日の朝だけバスで行きました
教養娯楽費	0 円	
被服費	0 円	
雑費	1626 円	日用品
その他	36313 円	例:遊びに行ったときの交通費、お土産代
合計	94495 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 渡航前に両替所に行って準備しました。

その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください

現金を使う機会はなかったので、すべてデビットカードで支払っていました。コンタクトレスカードで公共交通機関の運賃支払いができるため、頻繁にカードを取り出すのが怖い場合は、Apple Pay や Google ウォレットを利用するのが便利です。

- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。

SIM カードとポケット Wi-Fi

- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

普段から使うものを用意していれば特に問題はないかと思います。むしろ持っていなくてよかったのは、シャツリです。日本と違いイギリスは硬水なので、日本の製品は向いてません。現地で買うのがおすすめです。

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

なし あり (問題の内容や相談した人等:)

特記事項:

- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省の旅レジを使って情報収集していました。また、夜遅くに一人で出歩かない、貴重品は肌身離さず持ち歩くようにしていました。

- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

ステイ先と学校では Wi-Fi、外では giffgaff のモバイル通信を使っていましたが問題なく繋がりました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

私とホストマザーともう一人の留学生と3人で生活していました。ホストマザーはとても優しく親切な方でした。事前に聞いていた家事の頻度以外にハウスルールはほとんどなく、比較的自由なステイ先に当たったのかなと思います。生活する上で困ることはなかったです。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

午前是一般英語、午後はビジネスコースを受講していました。一般英語は日本の中学・高校の授業よりペアやグループでのスピーキングが多めで4技能バランスよく学べるように構成されていました。ビジネスコースは座学というよりはディスカッションやケーススタディ中心の授業でした。募集要項の説明から想像していたものとはやや異なりましたが、英語で話さなければならない場面が多く、スピーキングへの抵抗感を減らすことに繋がりました。良くなかった点を強いて挙げるなら、当たる教師によって授業の進め方にブレがあることくらいです。

2)課外プログラムについて

放課後は現地でできた友達と観光に行くことが多く、ほとんど参加しなかったのかわかりません。ただ、学校が主催する観光や交流イベント、参加自由のクラブ活動がありました。

3)現地での生活に関すること

ロンドンは交通網が発達しており、緑豊かな公園もあちこちにあつて良い場所でした。美術館・博物館は入場料無料の場所が多く、安く観光できるので興味がある人にはおすすめです。ただ、滞在期間の為替レートが1£=210円ほどだったこともあり、物価は日本に比べて高いと感じました。500mlペットボトルの水が300~400円くらいの感覚です。お昼ご飯は Meal Deal を利用すると安く済ませられるのでよく利用していました。メイン+スナック+ドリンクを組み合わせるとどんな組み合わせでも一律料金になり、3~5£程度に収まります。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

語学学校で全員留学生なので現地学生というべきが微妙ですが、一緒に休み時間にカフェに行ったり、放課後や休日に観光したり、寮に遊びに行ったりしていました。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

授業中、日本のように挙手して発言するスタイルではなく、質問や意見があればすぐに話し始めるスタイルに最初は慣れませんでした。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私は、このプログラムの English Plus Business, Marketing and Finance というコースを4週間受講していました。最初の2週間はリスニングだけでも精一杯で、自分の意見を述べるのには時間がかかったり、どう表現すればよいかわからず辞書や翻訳機で調べたりしていました。4週目に入って急に日本語→英語の翻訳をしている感覚から英語で考えて話すという感覚に切り替わり、CEFR C1相当の生徒もいる中でディスカッションにまともについていって発言できるようになりました。発言できるようになると授業が格段に面白くなるので、正直もう少し長く滞在できるようにしておけばよかったと思っています。異文化交流やスピーキングへの抵抗感を減らすには4週間という期間は十分だったと思います。一方で、(成長スピードには個人差があるので一概には言えませんが)少しでも英語を話せるようになることが目的ならば、4週間以上で申し込んだ方が良いかもしれません。留学の目的は人それぞれですので、ぜひ様々なプログラムを比較・検討してください。この報告書が参加するプログラムを決定する一助となれば幸いです。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	Kings London 英語研修
-----	-------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	22,600 円	昼食
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	2,200 円	通信費
現地通学費	10,010 円	(研修先まで バスを使って 20~30 分)
教養娯楽費	50,000 円	観光、カフェなど
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	27,100 円	例:お土産代
合計	111,910 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:
その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート
- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
スマートフォンでのタッチ決済
- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
SIM カード(giffgaff)
- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
風邪薬、モバイルバッテリー、水筒、ドライヤー

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
 なし あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:
- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？
危険情報は渡航前にインターネットで調べました。現地での防犯対策としては、人通りの少ない場所をできるだけ避けて歩くように心がけました。また、スマートフォンにはストラップをつけて首から下げられるようにし、荷物も手放さないよう注意していました。
- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
現地では SIM カードに加えて、学校やホームステイ先の Wi-Fi も利用していました。地下鉄では電波が繋がらないこともありましたが、基本的には問題なくインターネットを利用することができました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

共有スペースはありましたが個室が用意されていたので、落ち着いて生活することができました。就寝時間が異なっていたので、最初の頃は物音で目が覚めてしまうこともありましたが、次第に生活リズムにも慣れてきました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

少人数での授業で、ペアワークやグループワークが多く、英語で話す機会が多かったです。初日に行われたテストの結果によって、午前の英語クラスはレベル別に分けられていました。午後は選択授業となっていて、さまざまな種類の授業が用意されていました。

2)課外プログラムについて

美術館見学や観光に行くことができるものから、スポーツなどの運動系のアクティビティまで、さまざまな活動が用意されていました。授業時間内に課外プログラムが計画されている日もありました。

3)現地での生活に関すること

日本と比べて物価が高いと感じましたが、学校周辺にはスーパーやカフェなどがあり、食事にはあまり困りませんでした。また、バスや地下鉄などの交通機関が発達しており、移動も便利でした。授業後には友達と観光に行くこともでき、現地の街や文化を楽しむことができました。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

授業と授業の間の休憩時間には会話をしたり、一緒に昼食をとったりして交流を深めました。また、授業中のペアワークやグループワークを通して会話をすることがありました。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

授業後や週末には、友人と一緒に帰宅したり、街に出かけたりするなどして交流を深めました。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

授業中には、次々と積極的に発言している学生が多く、日本の授業とは異なる活発さを感じました。また、救急車やパトカーなどの緊急車両のサイレン音が日本より大きく感じられ、印象に残りました。さらに、日曜日には早く閉まってしまうお店が多いと感じました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

3週間という短い期間でしたが、とても貴重で充実した経験をする事ができたと感じています。現地では周りの方々の英語力の高さに驚かされ、自分の英語力の不足を実感するとともに、英語を聞き取ることや英語で自分の考えを伝えることの難しさも強く感じました。しかし、そのような環境の中で実際に英語を使ってコミュニケーションを取ろうとすることで、語学力だけでなく、積極的に行動する大切さも学ぶことができました。また、世界中から集まった人々だけでなく、現地で出会った日本人とも交流を深めることができ、多様な価値観に触れる良い機会となりました。さらに、日本とは異なる文化や生活習慣の中で過ごすことで、日常生活の違いを実際に体感することができたことも大きな学びでした。

週末や放課後にロンドン市内を観光したり、カフェに行ったりするなど、現地の生活を楽しむことができました。今回の経験を通して感じた課題や学びを今後の学生生活や英語学習に活かし、さらに視野を広げていきたいと思えます。